

第 37 回九州紙パルプ研究会講演会 ～森林資源の新たな利用～

下記の要領で、標記の講演会を開催いたします。

紙パルプは、循環型生物資源である木質バイオマスを原料としており、資源・環境・エネルギーのあらゆる分野と深く関係しています。今回は、「森林資源の新たな利用」と題し、紙パルプ関連分野の幅広いトピックスから“オープンイノベーションにつながる話題”を取り上げております。多数のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

主催：九州紙パルプ研究会

後援：日本木材学会九州支部

日時：平成 25 年 5 月 31 日（金）13:10～18:00

場所：九州大学五十周年記念講堂四階大会議室（福岡市東区箱崎 6-10-1）

講演内容：

「森林バイオマス高度利用のための鍵物質「抽出成分」～セルロース・リグニン以外の成分を
いかに利用するか?～」

九州大学大学院農学研究院 清水 邦義 氏

「日本製紙のバイオリファイナリー - 総合バイオマス企業を目指して-」

日本製紙株式会社 飯森 武志 氏

「セルロースナノペーパーに印刷した電子デバイスの開発」

大阪大学産業科学研究所 能木 雅也 氏

参加費： 1,000 円（講演要旨集代として）

ミキサー：1,000 円（講演会後に交流会を開催いたします）

参加申し込み：5月17日（金）までに、氏名、所属、メールアドレス、電話番号をご連絡ください。

申し込み・お問い合わせ先：

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

九州大学 大学院農学研究院 環境農学部門内

九州紙パルプ研究会 庶務幹事 一瀬博文

E-mail：ichinose@agr.kyushu-u.ac.jp TEL/FAX：092-642-2994